

遺族代表 あいさつ

私は、赤嶺一と申します。那覇高校二十一期生です。

二中健児の塔に祭られている二中健児の遺族を代表してご挨拶を申し上げます。

私の叔父、父の弟に当たります。赤嶺康信は八十一年前の沖縄戦で県立二中の学徒兵として動員され通信隊の一員として戦場に駆り出さ犠牲となり一八七名の仲間と九名の引率経論と供に、ここ「二中健児の塔」に刻銘されております。今ある私たちの暮らしと繁栄は先の戦争によって亡くなられた方々の尊い犠牲の上に成り立っていることを決して忘れてはなりません。

あの悲惨な戦争を二度と繰り返さないこと、恒久平和を希求することが亡くなられた方々への弔いであり、私たちの責務であると感じております。

今だに世界の多くの場所で、戦争や紛争、テロにより多くの尊い命が失われております。

あの時の沖縄と同じく多くの女性や子供達が犠牲になっております。

この世界から、そしてこの沖縄が二度と戦場になることのないように祈りたいと思います。

在校生の皆さんには平和学習の一環として「二中健児之塔」の由来、平和の尊さについて学ぶことに、この慰霊祭の意義がございます。

本日の慰霊祭開催に際し、ご尽力戴きました関係各位に対

し深く感謝申し上げますと共に、ご遺族の皆様のご健勝をお祈り申し上げます、私のあいさつとさせていただきます。

令和八年六月二十三日

二中健児之塔 遺族代表

赤嶺 一